



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」I（2回目）】

《目的》

地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通じて、社会で働く方々の技能の高さを実感させるとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ばせる。

《実施内容》

ガス切断の技術指導

《講師》

尾鷹 正三 様 今治造船株式会社
竹縄 洋一 様 株式会社新来島どつく

《取組》

- 日 時 平成28年10月31日(金) 13:50～
- 場 所 今治工業高等学校 溶接実習室
- 対 象 機械造船科1年生 1班10名
- 内 容 ・ガス切断の作業要領等の説明及び講師実演
・ガス切断の実習、筆を使ったガス切断の練習
・講師の方からの助言、まとめ



《講師の先生の助言》

- ・生徒が楽しんで取り組んでいたのがよかったと思う。
- ・一定の幅で、裏面にスラグが付着しないよう切断できているか注意すること。
- ・しっかり取り組んで技術を身に付け、地元造船会社で頑張ってもらいたい。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・生徒が一所懸命取り組んでいたのが、とてもよかった。また、生徒同士が、良い点や悪い点を見つけ、互いに評価し合っていたのがよかったと思う。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・講師の方は、火の調節や切断するスピードが安定していてすごかったです。
- ・自分もまねしてみたいと思い、頑張ってみました。難しかったです。
- ・これからもっと技術を磨いていきたいと思いました。

《その他》

- ・今回はテレビ局や新聞社の取材があり、インタビューを受けた生徒は、「将来は造船会社に就職して、今治の活性化に貢献したい。」と答えていました。
- ・これからもガス切断の技能向上を図るなど、将来必要とされる技術・技能の向上を目指して取り組んでいきたいと思えます。

